

徳島市佐古小学校
「学力向上実行プラン」

主体的・対話的に深く学び、たくましく生きる子どもの育成
～教師が育ち、子どもが伸びる学校～

学力向上推進員	委員
板東敬子 赤澤智子 (研修主任)	熊井美樹校長, 中村七帆教頭, 黒羽建治教務主任 松本佐久良, 櫻木希実子, 片岡千裕, 佐伯順一, 林直美, 鴨頭俊輔

校長
熊井 美樹

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

【各校の取組状況の把握について】
管理職による授業参観や教員からの報告等,様々な機会を捉え,取組状況の把握を行う。

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○昨年度の県ステップアップテストでは,平均正答率が国語は県平均以上であり,基礎的・基本的な知識・技能が,概ね身に付いている児童が多い。 ●学力に個人差・学年差が見られる。県ステップアップテストでは,平均正答率が算数は県平均以下であり,文章問題の題意を正しく読みとり,求めることや式を導き出すことが難しい児童もいる。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。 ・話の内容を正確に聞き取り,自分の考えを伝えることができる。 ・正しく文章を読んだり書いたりできる。 ・タブレットを活用し,調べ学習をしたり復習問題をしたりすることができる。	・スキルアップタイムを計画的に工夫して行い,家庭と連携して家庭学習を支援する。 ・教材教具や板書などを工夫し,「わかる授業」を行うことにより,基礎的・基本的な内容の定着を図る。 ・タブレットを活用した個別最適学習を実践する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○相手を意識した手紙や作文,行事や集会の感想などにおいて,文章表現力に優れている児童が多い。 ●自分の考えや思いを筋道を立てて説明したり,友達の考えと自分の考えを比較・関連付けて理解・表現したりすることに課題がある。	・読みとったことやそれに基づいて考えたことを,目的や条件に応じて話したり書いたりすることができる。 ・友達との意見や考えの交流を通して学びを深め,自分の考えや思いを表現することができる。	・発表ナビ(話型)を活用し,表現の仕方を身につけさせる。 ・少人数での話し合い活動を積極的に取り入れ,根拠を明確にして考えを伝え合ったり,共通点や相違点を見付けながら考えを聞いたりするよう意識付ける。 ・意見の共有や情報・思考の整理にタブレットやホワイトボードを効果的に活用する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題については真面目に取り組む,最後までやり遂げることができる児童が多い。 ●分からないことがあっても最後まであきらめない気持ちや,疑問に思ったことについて追求しようとする意欲が乏しい。	・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・興味のあることを進んで調べたり,自ら課題を設定して自主学習や読書活動に取り組んだり,タブレットを活用したりすることができる。	・授業内容を工夫したり,体験的な活動を多く取り入れたりする。 ・「めあて→振り返り」の学習サイクルを確立することで,本時の成果を自覚し,次時への課題をもたせる。 ・タブレットをさらに活用し,自ら調べたり練習したりする機会を増やす。			

令和7年度 学力向上ロードマップ

